

Weekly report

MINKABU
THE INFONOID

株式会社ミンカブソリューションサービス
東京都港区東新橋1-9-1

今週の注目材料=米雇用統計は前回と比べて弱め見通し

2024年7月1日

5日に6月の米雇用統計が発表されます。

前回5月の雇用統計は非農業部門雇用者数が4月の+16.5万人、市場予想の+18.2万人を大きく上回る+27.2万人となりました。平均時給は前月比+0.4%と4月の+0.2%、市場予想の+0.3%を超え、前年比も+4.1%と4月の+4.0%、市場予想の+3.9%を超える伸びとなりました。

一方失業率は4.0%と市場予想及び4月の3.9%を上回りました。失業率が4%に乗せるのは2022年1月以来です。

非農業部門雇用者数の内訳を確認すると、4月は前月比変わらずとさえなかった建設業が+2.1万人となり、財部門の+2.5万人を支えました。非住宅部門の建設が主体となっています。

民間サービス部門は+20.4万人の好結果。同部門が20万人の大台を超えたのは昨年5月以来1年ぶりでした。教育・医療サービスがヘルスケア部門の増加を支えに+8.6万人と4月の+10.6万人には届かないものの高い伸びを維持。4月は冴えなかった娯楽・接客業が+4.2万人とまずまず。単体で1200万人超の雇用者のいるレストラン・バーなどの飲食部門が+2.46万人で全体を支えました。比較的景気に敏感な小売業が+2.3万人、運輸倉庫が+2万人となっており、こちらも好結果です。

一方失業率の計算で利用される家計調査ベース(非農業部門雇用者数と平均時給は事業所調査ベース)では、就業者数が前月から40.8万人減少し、失業者数が15.7万人増加する形で失業率の悪化が見られました。特に若年層(16歳から24歳)の失業率が9.2%と前月の8.2%から大きく悪化しています。

関連指標をみていきましょう。

まずは週間ベースの新規失業保険申請件数。雇用統計と調査対象期間のかぶる12日を含んだ週の結果は、5月の21.6万件に対して6月は23.9万件とやや悪化しました。

6月のコンファレンスボード消費者信頼感指数は100.4と5月の101.3から悪化。予想の100.0は上回りました。ただ労働関連の数字は改善されており、雇用が十分にある(Plentiful)との回答は38.1%で5月の37.0%を上回り、職を見つけることが困難(Hard to get)との回答は14.1%と5月の14.3%を下回っています。

その他、今週発表される関連指標をみていきます。

まず1日発表の6月米ISM製造業景気指数。

前回5月は48.7と4月の49.2から悪化。市場予想は49.5への改善でした。新規受注が4月から3.7ポイント悪化して45.4となっています。2022年6月以来の下落幅でした。

ただ雇用に関しては51.1と4月の48.6から2.5ポイント上昇し、好悪判断の境となる50を上回りました。

今回の予想は49.2と前回から改善見込みです。新規受注の改善予想などが支えになっています。ただ、雇用に関しては前回から悪化の見込みです。

3日に発表される同非製造業景気指数は前回53.8と4月の49.4から大きく改善。市場予想の50.8も超えて、2023年8月以来の高水準となりました。製造業における生産にあたる事業活動が61.2と4月から10.3ポイントの大幅な上昇。上昇幅は2021年3月以来の大きさ、水準は2022年11月以来の高水準となります。4月かなり弱かった雇用は47.1と4月の45.9から改善も、小幅にとどまり、50も下回っています。今回の予想は52.5と前回から若干の鈍化も50超えを維持する見込みです。

その他、2日に5月のJOLTS求人件数、3日に6月のADP雇用者数が発表されます。ADPは16.3万人と5月の15.2万人から上昇見込みです。

こうした状況を受けて今回の予想ですが、非農業部門雇用者数が+18.8万人と一気に伸びが鈍化する見込みです。水準的にはごく普通ですが、前回が強かっただけに鈍化という印象が強くなります。失業率は前回と同じ4%、平均時給は前月比+0.3%、前年比+3.9%と5月の+0.4%、+4.1%から伸びが鈍化見込みです。

全般に決して弱い数字ではありませんが、前回強めの数字が複数見られたこともあり、予想前後であれば雇用市場の好調さが一服という印象。9月の利下げ開始に向けた市場の期待を支える形となりそうです。

予想通り、もしくはそれよりも弱い結果でドル売りの材料という印象です。

山岡和雅 | ミンカブソリューションサービシズ 編集長

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後にGCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブソリューションサービシズは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブソリューションサービシズが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブソリューションサービシズ)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。